

「柔道 1本がとれる固め技を考えよう」

固め技の条件や固め技を解くための条件を提示し、子どもたちが固め技を考える授業を構想しました。子どもたちに提示した条件は以下の通りです。

固め技の条件

相手の背中及び両肩(または一方の肩)を畳に着けた状態で一定時間抑え込むこと。

一本：20秒

※相手の帯や襟に足をかけてはいけない。

相手の首の関節や脊椎に故障を及ぼすような動作をしてはいけない。

固め技を解くための条件

①自分の両足を相手の足に絡める

②うつ伏せに逃げる

③ひっくり返して逃げる

体格の近い4人グループを組み活動しました。子どもたちは互いを固めあいながら、助言しあって技を創っていきました。子どもたちがある程度考えをもてたところで全体で共有をしました。子どもたちからは「両肩の柔道着を抑える」「相手の腕を自由にさせない」「お腹が動きの始点になるからお腹を抑える」などの意見が出ました。特に、相手の足をどのようにするかについて議論になりました。「足を抑えたいけれど、上半身も抑えたいためにうまくできない」という課題があったため議論になりましたが、「自分の足を相手から遠ざけるとよいのではないか」という意見に納得する子どもが多く、その後さらに追及活動に入っていました。既存の技に近い形まで子どもたち自身で固め技を考えることができました。

